

1 単元名「ビブリオバトルをしよう ―No.1ファンタジー決定戦―」

教材名「きつねの窓」

2 単元の目標

・読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。

【知識及び技能】(3)オ

・「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、物語の内容と感想、意見を区別するなど、話の構成を考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】A(1)イ

・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、物語に対する自分の考えをまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】C(1)オ

・学習に見通しをもち、目的に向かって自分に合った学び方を選んで取り組み、作品のよさを伝えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】

3 指導事項に合致した言語活動とその特徴

指導事項に合致した言語活動として「ファンタジー作品を読み、ビブリオバトルを通して物語のよさを伝える活動」を位置付けた。ファンタジー作品をいくつも読み、その中で自分が友達におすすめしたい本を選び、ビブリオバトルを行う。ビブリオバトルは、それぞれがお気に入りの本を紹介し、互いに評価し合いチャンプ本を決める活動である。また、「読む」「話す・聞く」「書く」の力を総合的に使う言語活動である。本の内容や魅力を伝えるために要点をまとめ、聞き手を意識してわかりやすく話す力を身につけたり、聞き手として質問したり、感想を伝えたりすることで対話的な力も身につけていく。さらに、自分で本を選び、内容を読み取って紹介する過程は、主体的な学びにもつながる。この言語活動を位置付けた学習活動を展開することで「目的に向かって自ら進んで本を読み、選んだ作品のよさをわかりやすく相手に伝えようと工夫する。」という目標を達成することができる。

4 単元について

(1) 教材観

教材文「きつねの窓」は、不思議なきつねとの出会いを通して、人の心のあたたかさや悲しみ、許しといった深い感情に触れることができる物語である。登場人物の「ぼく」が青いきつねに出会い、指を染めてもらい「きつねの窓」を手に入れる。その窓に見えたものを通して、登場人物は少しずつ心情を変化させていく。物語を読み進めていく中で、現実と幻想の間を行き来しながら、さまざまな問いをもったり、想像を膨らませたりすることができる。また、比喩表現があり、何をどのような様子にたとえたものなのか考えさせることで、比喩を用いることによる表現の効果を感じることもできる。

この物語をきっかけとし、ファンタジーの面白さに気づき、他の作品への興味を広げていくことを期待したい。

(2) 児童の実態

実態調査の結果や分析については、省略させていただきます。

(3) 指導観

<研究仮説について>

児童が学びたいと思えるような導入や目的を設定し、個に合わせた手立てを工夫すれば、主体的に学びに向かう力が育つだろう。

本校の研究仮説を検証するために、以下の3点に取り組む。

① 言語活動の工夫（ビブリオバトル）

「児童が学びたいと思えるような目的」にするために、ビブリオバトルを行うことをゴールに設定する。ビブリオバトルは、発表を通して「もっと読みたくなった本」を投票で選ぶ活動である。ゲーム的な要素を入れた活動であり、児童の発表への意欲を高めることに繋がるだろう。友達の前で発表するという緊張感もあるが、自分が選んだ「好きな場面」や「好きな本」について語る事ができる喜びや達成感を味わうことができる。自分が選んだ本のよさが「どうすれば伝わるか」「どんな人に届いてほしいか」などを考えることを通して、学びに向かう力や思考する力が身に付くだろう。

② 自分で学び方や進めるペースを決定して取り組む（自由進度学習）

「個に合わせた手立てを工夫」するために、ビブリオバトルを行うための読書、発表準備や発表練習の過程を自由進度学習で行う。児童一人一人が自分のペースで学習を進めていくことで、教師は学習の進み具合や理解の深まりを確認しながら、必要に応じた個に合わせた指導を行うことができる。また、一人で取り組んだり、友達と取り組んだり、教師と取り組んだり児童に学び方も選択させることで「個別最適な学び」と「協働的な学び」を目指していきたい。

③ 学習計画に沿って、毎時間学習の振り返りを行う

「主体的に学びに向かう力を育てる」ために、単元の学習計画を立て、自分の学びについて毎時間振り返る。児童が自分で学習の見通しをもち、実際の取り組みに合わせて自分の学びを振り返ることは、学びを自分事としてとらえることに繋がるだろう。自由進度で学習を進めていくため、ゴールに向けて「今日はここまで頑張ってみよう」と毎回計画を立てさせる。また、振り返りをさせる際には、「今日はここまで進めることができた」といった自己評価と「ここが難しかったから次は〇〇のように工夫したい」などといった次への見通しをもたせることで、自らの学びをつくっていく力を身につけさせたい。

<単元について>

本単元では、児童が自分のペースでファンタジー作品を読み進め、自分なりに心に残った場面を選んで、その本の良さを伝え合うビブリオバトルを行う。この活動を通して、登場人物の心情や物語の世界観を自分なりに捉え、読みを深めることをねらいとしている。また、自由進度学習を取り入れることで、児童が自分の学びに見通しをもち、計画的に取り組む力を育てていきたい。また、ビブリオバトルを通じて、友達の考えを尊重する心を育て学び合う楽しさを感じさせることで、対話を大切にする態度を育てていきたい。

第一次では、ビブリオバトルを行い、ファンタジー作品でチャンプ本を決めていくことを目標に学習の計画を立てる。ビブリオバトルの様子を提示したり、ワークシートの教師見本を示したりすることで、学習の見通しをもたせ、必要な活動や身につけるべき力について考えさせる。また、ファンタジー作品の特徴について一緒に確認する。教科書教材の「きつねの窓」の他に、さ

まざまなファンタジー作品を並行読書させていく。

第二次では、自由進度で「きつねの窓」を読み深めていく。物語を読み進めながら、自分の一番好きな場面を選び、自分の考えをワークシートにまとめていく。ワークシートにまとめたことをもとに、どのように発表するか考え、メモや原稿を作成する。相手に自分の考えがより伝わるよう、話し方を自分で工夫したり、友達と相談したり、教師と一緒に考えたりと学び方を自己調整させていきたい。ビブリオバトル本番では、「きつねの窓」のチャンプ場面を決定していく。発表の場面では、学級全体の前で話すことが苦手な児童もいるため、友達と一緒にこなしてもよいこととする。

第三次では、並行読書していたファンタジー作品の中から、自分が選んだ本を自由進度で読み深めていく。おすすめの場面やポイントをワークシートにまとめながら、物語を読み進めていく。「きつねの窓」の時と同様で、ビブリオバトルを行うための発表準備を書き溜めたワークシートをもとに行っていく。この時も、「一人で取り組む」「同じ本を選んだ友達と取り組む」「教師と一緒に取り組む」など学習方法を自己決定させていきたい。

チャンプ場面やチャンプ本を決めるという目的であるが、勝ち負けではなく「どうすれば選んだ場面のよさが伝わるか」「どんな人にこの本を読んでほしいか」といった目的意識や相手意識をもたせるよう留意したい。

5 単元の評価規準

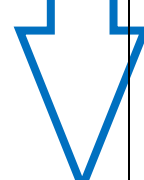
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。 (3)オ	①「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、物語の内容と感想、意見を区別するなど、話の構成を考えている。 A(1)イ ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、物語に対する自分の考えをまとめている。 C(1)オ	学習に見通しをもち、目的に向かって自分に合った学び方を選んで取り組み、作品のよさを伝えようとしている。

6 指導と評価の計画（11時間扱い）

学習過程	時配	学習内容・学習活動	評価規準・評価方法等
一次 (見いだす)	1	・ビブリオバトルについて知り、単元全体の見通しをもつ。 ・ファンタジー作品の特徴を知る。 (一斉)	[主体的に学習に取り組む態度] <発表・振り返り>
二次 (自分で取り組む)	2	・「きつねの窓」を読む。① (自由進度)	[知識・技能] <ワークシート、振り返り>
	3	・「きつねの窓」を読む。② (自由進度)	[知識・技能] <ワークシート、振り返り>

(広げ 深める)	4	・「きつねの窓」の心に残った場面を選び、ワークシートに自分の考えをまとめる。 (自由進度)	[思考・判断・表現②] <ワークシート>
	5	・選んだ場面をどのように紹介するかを考え、発表メモや原稿を作る。 ・発表の練習をする。 (自由進度)	[主体的に学習に取り組む態度] <態度・メモ、原稿>
	6	・ビブリオバトルを行う。「きつねの窓」の心に残った場面を紹介し合い、チャンプ場面を決める。 (一斉)	[思考・判断・表現①] <発表>
三次 (まとめ あげる)	7	・自分の選んだファンタジー作品を読み深め、おすすめポイントをまとめる。① (自由進度)	[知識・技能] <ワークシート、振り返り>
	8 (本時)	・自分の選んだファンタジー作品を読み深め、おすすめポイントをまとめる。② (自由進度)	[思考・判断・表現②] <ワークシート>
	9	・自分の選んだファンタジー作品を読み深め、おすすめポイントをまとめる。③ (自由進度)	[主体的に学習に取り組む態度] <態度、振り返り>
	10	・ビブリオバトルの準備をする。おすすめポイントが伝わるよう、発表の仕方を考える。 (自由進度)	[思考・判断・表現①] <観察、振り返り>
	11	・ビブリオバトルを行う。それぞれが選んだ本を紹介し合い、チャンプ本を決め、単元の振り返りを行う。	[思考・判断・表現①] <発表、振り返り>

並行読書『ファンタジーの本』



7 本時の指導 (8/11)

(1) 本時の目標

- ・学習に見通しをもち、ビブリオバトル本番に向けて自分で学び方を選択し、作品のよさを伝えようと準備している。
[学びに向かう力、人間性等]

(2) 展開

過程 時配	学習内容と学習活動	指導・支援 (○) と評価 (◇)	備考
導入 (見出す) 3分	1 前時までの学習を振り返る。 2 本時のめあてを確認する。	○ファンタジー作品を読み深めてきたことを振り返る。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 📖 選んだ本を読み深め、ビブリオバトルに向けて準備を進めよう。 </div>			
展開 (自分で取り組む) 5分	3 自分で今日の学習の計画を立てる。	○学習計画を確認し、自分に必要な学習は何かを考えさせる。 ○計画が立てられない児童には、前回の振り返りを見ながら、一緒に計画を立てられるよう声をかける。	学習計画
30分	4 自分で立てた計画に沿って、学習を進める。 ・一人で取り組む。 ・友達と一緒に取り組む。 ・教師と一緒に読み進める。 ・もう一度物語を読み返し、あらすじをまとめる。 ・もう一度物語を読み返し、おすすめしたい場面を選ぶ。 ・選んだ理由についてまとめる。 ・おすすめしたい場所が決まったから、どのように発表するか考える。 ・発表の仕方を友達と相談する。	○ワークシートは教師見本を用意しておき、困ったら確認できるようにしておく。 ○読みが苦手な児童には、教師と一緒に取り組んでもよいことを伝える。 ○おすすめポイントや好きな場面を選べない児童には、教師と会話をしながら、気に入った場面を確認していく。 ○児童一人一人の学習進度を確認しながら、机間巡視を行う。 ◇学習に見通しをもち、ビブリオバトル本番に向けて自分で学び方を選択し、作品のよさを伝えようと準備している。 [主体的に学習に取り組む態度]	ワークシート
まとめ (まとめあげる) 7分	5 次時の活動に見通しをもち、今日の学習の振り返りを行う。	○本時の学習でどんなことができたのか、次回はどんなことに気をつけたり、工夫をしたりして学習に取り組みたいかを考えさせる。	学習計画

(3) 板書計画

<p>ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の取り組みについて ・次回ががんばりたいこと 	<p>教師見本 (準備シート)</p>	<p>今日の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらすじをまとめる ・おすすめしたい場面を選ぶ ・本と自分のことについて考える ・発表の練習をする ・友達からアドバイスをもらう 	<p>④ 選んだ本を読み深め、ビブリオバトルに向けて準備を進めよう。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------

(4) ルーブリック評価

Aと判断する状況	学習に見通しをもち、ビブリオバトル本番に向けて、自分なりに学び方を選んで取り組んだり、友達とアドバイスをし合ったりし、作品のよさについて友達にわかりやすく伝えようとしている。
Bと判断する状況	学習に見通しをもち、ビブリオバトル本番に向けて、自分に合った学び方を選んで取り組み、作品のよさを伝えようとしている。
Cと判断する状況	学習に見通しをもち、目的に向かって自分に合った学び方を選んで取り組むことができない。